

Hondaは、北米市場において根強い人気を持つ大型Vツインクルーザーモデルを、独自の高い技術力を駆使し、品質や信頼性、機能、デザイン性に優れた製品として国内外に提供してまいりました。

国内市場には、初の大型VツインクルーザーのNV750カスタム（1982年）を皮切りに、シャドウ・アメリカンクラシックエディション（1995年、1,100cc）、シャドウ<750>（1997年～）、VTX（2001年、1,800cc）など個性的なモデルを投入してまいりました。

1996年の免許制度改訂以降の大型免許取得者の増加に伴い、大型二輪市場は拡大してきましたが、ユーザーのニーズが多様化する中、特にクルーザーカテゴリーは「ゆったり乗れる大人の趣味性の高い乗り物」と認知され安定した成長を続けております。

この度発売するVT1300CXは、本年4月にクルーザーモデルの本場である北米で「Fury」として発売が開始され、これまでの既存のクルーザーモデルに対する概念にとらわれない大胆なデザインでありながら、世界初のフローティング・ファイナルギア*等による軽快な操縦性を実現し、鼓動感溢れる新設計エンジンやHonda独自のコンバインドABS（タイプ設定）による先進の安全技術の採用等と相まって、大変好評を頂いております。

国内向けには専用のライディングポジションを設定する等、大型クルーザーカテゴリーへの高まるお客様のニーズに対し、Honda独自の新たな価値観を提案してまいります。

*Honda調べ

